

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

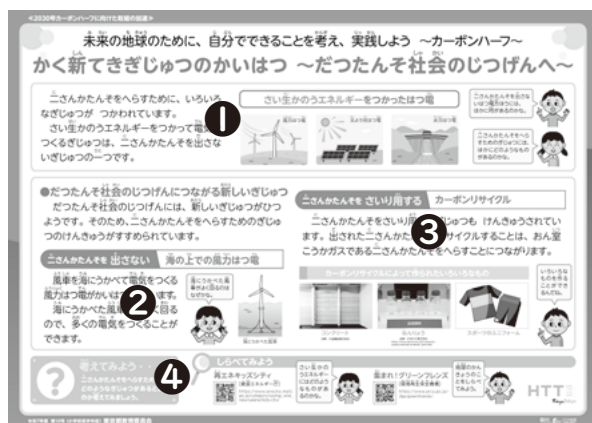
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル 推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
革新的技術の開発 ～脱炭素社会の実現へ～

表題



ねらい

- ・二酸化炭素を減らすために、新しい技術の研究が進められていることを知る。
- ・海の上での風力発電が、再生可能エネルギーを使った新しい発電技術であることを知る。
- ・二酸化炭素を再利用して色々なものを作ることができることを知る。

本教材で扱う 主な内容

再生可能エネルギーを使った発電、海の上での風力発電、カーボンリサイクル

主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、再生可能エネルギーを使った発電にはどのようなものがあるのか考える。 ○二酸化炭素を減らす技術の研究が進められていることを知り、他にどのような技術があるのか考える。	○再生可能エネルギーについて説明する。これまでに学習した再生可能エネルギーを使った発電技術を振り返る。 - カーボンハーフスタイル推進資料5号～8号を提示してもよい。 ○脱炭素社会の実現のためには新しい技術が必要であることを説明する。	◆掲示用教材① ワークシート① ◆カーボンハーフスタイル推進資料5号～8号 ■資源エネルギー庁 再エネキッズシティ 
○推進資料②を見て、海の上での風力発電が開発されていることを知る。	○海の上での風力発電の仕組みを説明する。 ○風車を海の上に設置するとなぜよく回るのか質問する。	◆掲示用教材② ワークシート②
○推進資料③を見て、カーボンリサイクルについて知る。	○二酸化炭素を再利用して様々なものを作ることができることを説明する。	◆掲示用教材③
○推進資料④を見て、二酸化炭素を減らすためにどのような技術があるとよいのか話し合う。	○二酸化炭素を出さない、排出を減らす、再利用するという観点で、自由にアイデアを出し合うよう声掛けをする。	◆掲示用教材④ ワークシート③ ■環境再生保全機構 集まれ！グリーンフレンズ 

